

アルカリ総量計算書 令和6年 5月分

配 合 の 設 計 条 件						
設計基準強度	配合強度	粗骨材最大寸法	単位質量	スランプ	空気量	
30 N/mm <sup>2</sup>	36.6 N/mm <sup>2</sup>	20 mm	2413 kg/m <sup>3</sup>	10 cm	2.0 %	

アルカリ総量の計算表

アルカリ総量の計算	判定基準	計算及び判定
コンクリート中のセメントに含まれる全アルカリ量(kg/m <sup>3</sup> ) Rc $Rc = (\text{単位セメント量kg/m}^3) \times (\text{セメント中の全アルカリ量Na}_2\text{Oeq:\%/100})$	①=Rc 2.42	Rc = 384 × 0.63/100 = 2.42
コンクリート中の混和材に含まれる全アルカリ量(kg/m <sup>3</sup> ) Ra $Ra = (\text{単位混和材量kg/m}^3) \times (\text{混和材中の全アルカリ量:\%/100})$	②=Ra -	
コンクリート中の骨材に含まれる全アルカリ量(kg/m <sup>3</sup> ) Rs $Rs = (\text{単位骨材量kg/m}^3) \times 0.53 \times (\text{骨材中のNaClの量:\%/100})$	③=Rs 0.00	$Rs1 = 818 \times 0.53 \times 0.000/100 = 0.00$ $Rs2 = 1044 \times 0.53 \times 0.000/100 = 0.00$ $Rs = Rs1 + Rs2 = 0.00$
コンクリート中の混和剤に含まれる全アルカリ量(kg/m <sup>3</sup> ) Rm $Rm = (\text{単位混和剤量kg/m}^3) \times (\text{混和剤中の全アルカリ量:\%/100})$	④=Rm 0.03	Rm = 2.3 × 1.2/100 = 0.03
流動化剤を添加する場合は、 コンクリート中の流動化剤に含まれる全アルカリ量(kg/m <sup>3</sup> ) Rp $Rp = (\text{単位流動化剤量kg/m}^3) \times (\text{流動化剤中の全アルカリ量:\%/100})$	⑤=Rp -	
コンクリート中のアルカリ総量(kg/m <sup>3</sup> ) Rt $Rt = ① + ② + ③ + ④ + ⑤$	Rt 2.45	3.0 kg/m <sup>3</sup> 以下

示 方						配 合 (kg/m <sup>3</sup> )				
水セメント比 W/C(%)	細骨材率 S/a(%)	セメント	水	細骨材	粗骨材	混 和 剤			混 和 材	
						①	②	③	①	②
43	44	384	165	818	1044	2.3				

<備考>